



## 冬時間

ご無沙汰しております。前号からしばらく経ってしまいました。夏休み以降、色々と忙しくなってしまう、更新できておりませんでした。さて、スイスは冬時間というものに突入しました。聞いたことはあると思いますが、自分自身がしっかりと理解するために勉強したことをお伝えします。（日本には無いシステムなので感覚として伝えにくいのですが…。）

まず、スイスと日本の時差は夏時間で7時間です。10月27日から冬時間となり、時差が8時間となりました。ヨーロッパは夏の期間、太陽の出ている時間がものすごく長いのです。朝は5時ころから明るく、夜は10時近くまで明るいのです。10月中頃には朝は8時まで暗く、夜は6時には真っ暗になります。日照時間に合わせて生活を送るために、時間を1時間遅らせるのが「夏時間と冬時間」の仕組みです。10月27日は1時間得することになるので、1日が長く感じられました。反対に、3月の夏時間への切り替えは、1時間損することになるそうです。



（左）家の前のスタンド  
AM7:30（10月秋）

（右）PM9:30の家の窓からの様子（8月夏ごろ）

## 校務について

現在1・2年生を担当しています。息子もいます(笑) 本校は、教科担任制なので学年に関係なく授業を持ちます。私について言えば、中学校の英語を教えるといった感じです。先生方は色々な学年の授業に1日中行ったり来たりしています。校長先生であっても、授業を持っていただいている状況です。教科担任制ですが、ほぼ空き時間は無く、フル稼働の状況です。また、外国語教育については、ドイツ語が週に2時間。英語が週に1～2時間入っています。（高学年は日本に合わせて2時間です。）現地採用（スイス在住）の方が教えに来てくれます。当然、日本語は一切話さないで、オールドイツ語とオール英語が当たり前です。その分、最初は苦労しますが、子どもたちは耳が慣れるのが早いのであっという間にリスニング能力が高くなっていきます。中学部に上がる前に英検5級を取る子が多くいて、3級を取得する子も珍しくありません。中学英語は、僕の教える時間が週に2時間。現地採用の外国人教員の英語が2時間となっています。お互いの授業の内容と進度は打ち合わせをしています。

規模が小さな学校なので、事務の方を含めた、職員全員で子ども達全員を見ている感覚が強いです。そのために、情報共有は非常に大切です。情報は全員で共有していくように心がけているところは、日本と変わりません。日本とスイスで場所は遠く離れていて、教育の方法も異なりますが、理念や思いは変わらず、子どもたちと接する先生方が日本人学校にもいます。チューリッヒ日本人学校の職員室、とても雰囲気の良い職場です！